



思いを乗せてタスキを繋ぐ

第31回ふくしま駅伝 国見町は総合46位



声援を受けながら走る後藤仁志選手



国見町応援団が熱い声援を送りました



山田哲也選手(左)が山崎達也選手(右)にタスキをつなぐ



颯爽と駆け抜ける菊地凜選手 (ゼッケン15)



懸命にタスキをつなぐ選手たち



優勝の栄冠は藤田Aチームに

第43回国見町駅伝競走大会

順位	チーム名	記録
優勝	藤田 A	43分 52秒
準優勝	佐川急便福島	46分 19秒
第3位	藤田総合病院 A	48分 20秒

区間賞	氏名	チーム名
第1区	佐藤悠貴也	藤田 A
第2区	田口 幸一	佐川急便福島
第3区	山田 哲也	藤田 A
第4区	大竹 洋平	藤田 A
第5区	岩城 賢明	大木戸地区スポーツ振興会
第6区	山崎 達也	藤田 A

ニアピン賞 藤田 A



太田久雄町長から選手へトーチを授与



笑顔でトーチリレー

市 町村對抗福島県縦断駅伝競走大会が11月17日、しらかわカナルスポーツパーク陸上競技場から福島県庁までの16区間94・8kmで行われました。31回目となる今大会には、県内全59市町村から53チームが出場し、それぞれの誇りを胸に福島路を駆け抜けました。

出場30回目の節目の大会となった国見町チームは、第1区の高橋香澄選手が区間11位、第2区の佐藤悠貴也選手が区間13位の快走を披露。その後も、各選手が町応援団の声援に心える粘り強い走りで、6時間2分42秒で総合46位、町の部24位の成績を収めました。

佐藤温史監督は「みなさんに声援をいただいたおかげで、選手は町のタスキをつなぎ、ゴールすることができました。町の代表として大きな舞台で走った中高生には、今回の経験を生かして国見町チームをけん引する選手に成長してほしい」と語りました。

東京 2020オリンピック大会機運醸成事業も兼ねた第43回国見町駅伝競走大会が11月3日、秋晴れの下で開かれました。

令和初となる今大会のテーマは、「絆 つなげ！復興へのタスキ!!」。上野台運動公園総合運動場を中継所とした6区間12・4kmの周回コースに変えての開催。中学生から高齢者までの多世代にわたる11チームのランナーたちは、沿道から送られる熱い声援を受けながら力走し、全チームが完走しました。

優勝は、終始首位を守った藤田Aチーム、準優勝は佐川急便福島チーム、3位は藤田総合病院Aチームでした。

また、今年の大会のオーピングセレモニーでは、選手たちが煙式のトーチリレーを行い、参加者全員で東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて期待を膨らませました。

がんばるみんなを応援 国見町青少年育成町民会議 奨励金交付

国見町青少年育成町民会議（太田久雄会長）は11月11日と12日、東北大会や県大会に出場する子どもたちに奨励金を交付しました。



▲奨励金を手に大会での活躍を誓うみんな▼



【第39回福島県中学校新人ソフトテニス大会】▶女子団体、穴戸結（中2）、志賀如音（中2）、徳江愛陽（中2）、四家美優（中2）、男子団体、佐藤遥哉（中2）、栗原成希（中2）、齋藤蓮斗（中1）、佐久間柊友（中2）、岩城龍音（中1）、菊地璃叶（中2）【第48回福島県中学校新人卓球大会】▶女子団体【福島県中学校新人柔道大会】▶藤原迅（中1）、佐藤大翔（中2）、藤原華凜（中2）【第24回東北高等学校新人陸上競技大会】▶ハンマー投げ/栗原陽愛（高2）【福島県高等学校新人陸上競技大会】▶1,500m・3,000m/鈴木ほのか（高2）、3,000m/菊地凜（高2）、3,000m/武田実黎（高1）



秋葉 太陽



松浦 音和

県北中学校 (3年生)



冨田 凜



佐藤 夢叶



清水 万優子

いっしょに天才たち